



— 令和7年鎌ヶ谷市議会定例会 令和8年3月会議 —

令和8年度当初予算成立

一般会計434億8,000万円(前年度比0.6%増 ※過去最大規模)

令和8年度予算の審議にあたり、私は委員8名からなる予算審査特別委員会の委員長を務め、慎重なる審査を行いました。予算編成への思いについての問いに対し、市長からは『新鎌ヶ谷地区を中心とした開発等によるまちづくりが飛躍的に進み、更なる発展期を迎えつつある今、確かな「ビジョン」を持ちながら、鎌ヶ谷のまちづくりを加速化させるため、「変革」と「挑戦」を続けることで、ありがたい未来を「つかむ」という強い決意をもって編成に臨んだ。』との答弁がありました。令和8年度予算は、多くの新規・拡充事業を含む過去最大規模のもので、緊急に取り組む事業として、「子育て世代への支援」「北千葉道路の整備を見通したまちづくり」に必要なものや福祉・教育・観光振興・防災対策・都市基盤整備等の予算が盛り込まれています。

1 子育て世代への支援

継続事業 総合福祉保健センター分館の整備
【7億6,120万円】※総事業費

ポイント 子育て関連部署の相談体制の強化を図るもの
(令和9年5月に開設予定)



分館のイメージ図

新規 民間保育所等の整備【2億2,179万円】

ポイント 定員60名の新施設1か所を整備するもの
(令和9年度上半期に開園予定)

新規 小学生の学校給食費の無償化【2億3,983万円】

ポイント 月額5,200円の県補助金を活用して
全学年の学校給食費を無償化するもの



学校給食費が無償に

新規 中学校1年生の学校給食費の無償化【4,045万円】

ポイント 子育て世帯の経済的負担軽減のため
中学校1年生の学校給食費を無償化するもの

2 北千葉道路の整備を見通したまちづくり

新規 企業誘致推進室の設置

ポイント 企業誘致を推進するための施策や情報発信、立地希望企業の支援等を通じて地域経済基盤の強化や税収増を図るもの

新規 市街化調整区域における地区計画運用基準の策定【799万円】

ポイント 市街化調整区域の秩序ある土地利用や地域の活性化を図り、持続可能な都市を目指すことを目的に基準を策定するもの

3 災害に強い安全、安心なまちづくり

継続事業 北初富駅前広場・アクセス道路及び雨水流出抑制施設整備工事の実施【3億550万円】

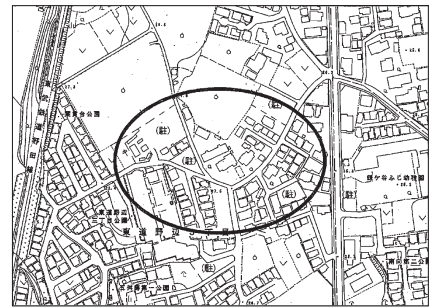
ポイント 北初富駅周辺地区において、駅前広場、アクセス道路及び浸水対策のための雨水流出抑制施設を整備するもの

新規 東道野辺三丁目地区地域排水整備に向けた
詳細設計の実施【849万円】

ポイント 浸水被害の軽減を図るため、排水流末を確保するための
詳細設計を実施するもの

新規 上水道未普及地区の配水管布設工事の実施
【2,640万円】

ポイント 有機フッ素化合物(PFAS)が検出された地区の上水道の
整備のための受益者負担金を一部補助するもの
(千葉県企業局への負担金の支出)



東道野辺三丁目地区対象地域

新規 生成AIを搭載した
新たなごみ分別支援サービスの導入【92万円】

ポイント ごみの適正な分別のため、生成AIによる10か国語対応の自動翻訳機能と写真送信により、
ごみの分別が検索できるLINEアプリを導入するもの

『待機児童対策』について一般質問を行いました(3月6日)

今回の一般質問では、待機児童対策を取り上げ、執行部の考えを伺いました。

質問 「鎌ヶ谷市こども計画」に定める今後の教育・保育の見込みと確保策を伺います。

回答 市内は、マンション建設などが進み、子育て世代の流入増や女性の社会進出などの社会情勢
の変化により、保育の需要は今後も増加を見込んでいるため、令和7年9月に認定こども園
1園(定員90名)、令和8・9年度に民間保育所等を各1施設(定員60名)の整備を位置
づけており、すでに整備事業者は決定しています。

質問 令和7年4月1日時点で国基準の待機児童ゼロを達成していたが、その後の申込状況と待機
児童の推移を伺います。

回答 令和7年5月から令和8年3月までの新規入園申込者数は513名で、月平均では47名です。
国基準では、5月に4名、10月に54名、令和8年3月に108名でした。また、国基準以外の
待機児童は、令和7年4月時点で123名、令和8年3月時点で247名となり、国基準の待機
児童と合わせると355名でした。

質問 今後の待機児童対策を含め、子育て世代への支援を伺います。

回答 令和8年度は、令和9年度以降の保育需要などを再度検証します。令和8年度予算では、
「子育て世代への支援」を掲げており、待機児童解消のための保育所の整備、妊娠から子育て
の切れ目のない支援を行う総合福祉保健センター分館整備、学校給食費の保護者負担軽減の
実施のほか、こども誰でも通園制度の本格実施、こども家庭センターの機能拡充など、子育て
がしやすいまちづくりを推進していきます。

～意見書を提出しました～

アメリカ合衆国及びイスラエルによる武力による一方的な攻撃やイランによる報復の連鎖は、
鎌ヶ谷市議会として断じて容認できないため、国に対し、即時停戦の強力な働きかけ、核施設への
攻撃禁止の徹底及び市民生活への影響対策を強力に推進することを強く要望するため、『アメリカ
合衆国とイスラエルによるイランへの攻撃中止と中東地域の即時停戦を求める意見書』を可決し、
国の関係機関へ提出しました。



勝又まさる —プロフィール—

議会所属委員会など

●都市・市民生活常任委員会 委員
●鎌ヶ谷総合病院運営協議会 委員

●議会運営委員会 委員
●社会福祉協議会 評議員